



各学年の指導の重点			
1 学年	2 学年	3 学年	J 組
<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の基本的操作を身につけ、情報活用の実践力の基礎を身につける。 情報の真偽を確かめながら情報を収集することができる。 情報モラルに反する情報に対し、対応の仕方がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を自分の考えに沿って、新たな資料にまとめることができる。 自分の発信する情報について、安全性やマナーの視点から見直し、より分かりやすい情報を発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 権利の意味を知り、権利に気を付けながら情報を加工することができる。 ネット犯罪を理解し、適切な対応の仕方がわかる。 自ら課題を設定し、より実践的な学習を展開することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の基本的操作を身につけ、情報活用の実践力の基礎を身につける。 必要な情報を集めることができる。 ネットのマナーを知り、情報を発信することができる。

各教科・領域における活用場面		各教科・領域における到達目標 (15歳での浦安っ子の姿)
国語	ショートショート 文法	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集や情報発信の手段として、インターネット等の活用、コンピュータによる発表資料の作成やプロジェクターによる提示ができる。 学習支援ソフトを活用して執筆、推敲、清書することができる。また、互いに作品に対する感想や批評を書くことができる。
社会	日本の諸地域 よりよい社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 他者と意見交換をしながら、思考を深めることができる。また、自分の考えや考察をプレゼンソフトを使ってプレゼンすることができる。 検索機能を使って自ら新たな知識や情報を収集することができる。(信頼性のある知識・情報を取捨選択することができる。)
数学	「データの活用」 「関数」	<ul style="list-style-type: none"> Excelを活用してグラフを作成できる。データをグラフ化し、複数のグラフを比べて分析できる。 実験データを座標平面上にとり、関数のグラフと比較・考察することができる。グラフ作成、図形の展開図や断面図が作成できる。
理科	各単元末の発展課題 実験レポート等作成時	<ul style="list-style-type: none"> 他者と意見交換をしながら、思考を深めることができる。また、自分の考えや考察をプレゼンソフトを使ってプレゼンすることができる。 検索機能を使って自ら新たな知識や情報を収集することができる。(信頼性のある知識・情報を取捨選択することができる。)
音楽	合唱の撮影 ミュージックラボで音楽作成	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの表現活動を録画し、客観的な根拠を基に技能面の課題や工夫点に気づくことができる。 自国や諸外国の音楽などいろいろなジャンルの動画コンテンツを視聴できる。気になったところを聴き返したり何度も聴き深めたりできる。 動画コンテンツを見ながら、器楽の個別学習ができる。 他校や他地域のひと、音楽の交流(地域の音楽や自分たちの表現活動の紹介)をしたり、協力で音楽作品等を制作したりできる。
美術	鑑賞 調べ学習 完成作品のアップロード	<ul style="list-style-type: none"> 端末を使ってアイデアスケッチを描くことができる。また、参考となる色やイラスト、用具の使い方等の資料を検索し閲覧して参考にできる。 端末を使って、短時間で多くの意見を共有したり交流したりすることができる。 「映像の特徴」「カメラの特性」等を生かして表現したいことが伝わるように表すことができる。(プライバシーや肖像権、著作権などに留意できる。) ICT機器と実物の違いやそれぞれのよさを理解し、最適な材料や方法を選ぶことができる。
保体	器械運動 マット運動 健康な観察と疾病の予防	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体の動きのチェック、修正などに、カメラ機能などを上手に活用できる。また、運動に関連したソフトや映像教材等を有効に活用できる。 検索機能を使って、健康情報の収集を行うことができる。また、それらの情報をもとに健康課題の発見や解決方法を考えることができる。
技術	情報とコンピューター 計測・制御による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的基本的なプログラミングを行うことができる。 端末を使って短時間で多くの意見を共有し交流することができる。また、検索機能を使って、自ら新たな知識や情報を収集することができる。
家庭	朝食の献立を考える	<ul style="list-style-type: none"> 端末を使って短時間で多くの意見を共有し交流することができる。また、検索機能を使って、自ら新たな知識や情報を収集することができる。
英語	メールの読み取り 音読をオクリンクで送る 動画の提出	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について簡単な表現の英文(電子メール等)を読み取ることができる。 電子メールで自分の状況を伝えたり、新聞やHPへの投稿文を書くことができる。 スピーチなどの活動において発表補助としてタブレットを使うことができる。その他、自分の発表を録画する。音声課題を提出する。
道徳 総合 特活	調べ方、まとめ方、発表の仕方 ネットモラルのページの実践 各学年での調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> 他者と意見交換をしながら、思考を深めることができる。また、自分の考えや考察をプレゼンソフトを使ってプレゼンすることができる。 検索機能を使って自ら新たな知識や情報を収集することができる。(信頼性のある知識・情報を取捨選択することができる。)

情報教育推進のための環境整備	家庭との連携	指導体制・研究体制の整備	情報モラル全般に関する研究
<ul style="list-style-type: none"> 視聴覚機器も含めたICT機器の導入整備と活用 PC室の管理運営 学校図書館との連携 教育用コンテンツの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 各種便り等による情報教育の広報活動 地域人材活用や地域教材の発掘と人的な協力体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科、領域を含めた指導計画の作成 校内の情報教育に関する組織整備 教職員対象のコンピュータ研修の充実 	<p>情報モラル指導モデルカリキュラムを活用し、情報社会の倫理、法の理解と遵守、安全の知識、情報セキュリティ、公共的なネットワーク社会の分野を指導できるための構内研修を行う。</p>